

平成27年2月2日

各 位

会 社 名 株式会社新東京グループ
(コード番号 6066 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 吉野勝秀
問合せ先 取締役管理部長 小野澤歩
T E L 047-383-7001
U R L www.mr-shintokyo.co.jp

平成27年5月期中間連結会計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成26年7月31日に公表いたしました、平成27年5月期中間連結会計期間(平成26年6月1日～平成26年11月30日)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

当社グループは、循環型社会の担い手としての責務を果たしつつ成長し続けることが重要と考えております。株主利益の最大化のため、引き続き業務に邁進してまいります。

記

1. 中間期連結会計期間業績予想と実績値との差異

(1) 平成27年5月期中間連結会計期間業績予想数値と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,500	百万円 95	百万円 65	百万円 36	円 銭 7.3
今回実績 (B)	2,463	7	△20	△31	△6.44
増減額 (B-A)	△37	△88	△85	△67	
増減率 (%)	△1.5	△92.6	△130.8	△186.1	
(ご参考) 前期中間期実績 (平成26年5月期中間期)	3,731	170	138	85	17.25

(注)平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益金額を算定しております。

(2) 差異の生じた理由

差異が生じた主な理由といたしましては、平成27年1月9日に公表させていただきました「子会社の太陽光発電設備の販売契約完了に関するお知らせ」にありますとおり、当初は当期上期に見込んで

おりました太陽光発電設備の販売引き渡し(発電所2カ所、404百万円:消費税込み)が、新エネルギー事業をとりまく様々な環境の変化から、やむなく平成27年3月までずれ込むことになったことが要因の一つであります。

また第二の要因といたしまして、平成26年8月より開始いたしました戦略投資事業につきまして、中間期末時点において保有資産に評価損が発生し、こちらを計上したことによるものです。

なお、ご参考として表中に記載させていただきました前中間期実績(平成26年5月期)につきましては、特殊要因として震災復興支援事業の実施に伴う売上高が計上されていることを補足させていただきます。

(3) 通期連結業績について

平成26年4月より当社グループの新規事業分野として開始いたしました新エネルギー事業といたしましては、上記の2発電所に続き、追加で2発電所の販売引き渡しを平成27年3月に予定しております。

また既存事業であります環境プロデュース事業、メタルマテリアル事業につきましても堅調に推移していることから、平成27年5月期の通期の業績見通しの売上高5,500百万円、営業利益200百万円、経常利益150百万円、当期純利益90百万円に変更はございません。

以上